

3. 地域別まちづくりの方向性

都市の将来的な構造や土地利用などを踏まえた、市民生活に身近な地域ごとのまちづくりの方向性を示し、これから市と地域住民がどのような役割分担でまちづくりを推進していくかを掲載します。

(1) 地域区分とまちづくりの方向性に示す内容

下記の要素を踏まえた6地域を設定します。

地域区分

- 既存の地域コミュニティ等を踏まえた基本単位とします。
- 地形・地物（道路等）や土地の利用状況などの地域特性を考慮します。
- 将来的な都市の開発動向や、地域内外の交流等の状況を考慮します。



■まちづくりの方向性に示す内容

6つの地域ごとに以下の事項を示します。

地域の概況等

- 各地域の概要、人口、高齢化率、世帯数の動向、ワークショップ結果、アンケート調査などを示しています。

○○地域のまちづくりの「テーマ」

地域の将来あるべき姿をキャッチフレーズで示します

まちづくりの方針

- 土地の利用のあり方や、まちづくりを進める具体的な取り組みについて、ポイントとなる内容を示します。

地域住民で考えたスローガン

- 地域別ワークショップで検討したスローガン及びスローガンに込められた想いを示します。

住民と市の役割

住民がすること

市と住民で協力すること

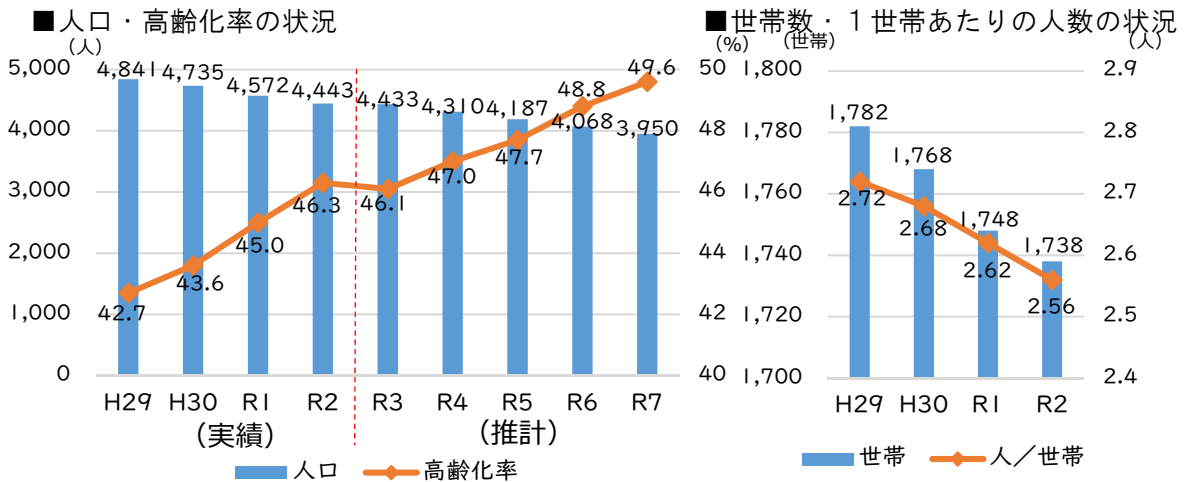
市がすること

- 今後のまちづくりについて、住民と市がどのような役割分担で推進していくかを示します。
- 地域別ワークショップで同様の作業をしており、そのとき作成した模造紙をイメージして作成しています。
- 地域別ワークショップにて実際にあった意見を参考にしています。

① 川根地域

地域の概況

- ・川根地域は市域最北部に位置し、大部分が森林で占められています。地域の中心となる家山地区には大井川鐵道家山駅が設けられ、周辺部には市街地が形成されています。
- ・人口の減少率及び高齢化率の上昇率は、市内で最も高いと推計されています。



地域のニーズ

※島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン、市民課「島田市の人口・世帯」から算出

■アンケートによる施策ニーズ

魅力ある商店街づくりなどの商業支援	主要な道路の整備公共交通機関の充実
雇用の確保・創出	農林業の振興
企業への支援や誘致などの工業支援	住宅地の整備や良質な住まいづくりの促進

令和3年度市民意識調査（令和3年6月実施）において、満足度が低く重要度が高い項目

■地域別ワークショップで多く出た意見

○地域の良いところ

川根温泉・川根温泉ホテル 大井川鐵道(SL) 桜
野守の池 パラグライダー 自然が豊か 水がきれい
お茶がおいしい 人柄が良い 近所付き合いが盛ん

○地域の悪いところ

少子高齢化の進行 交通の便が悪い 獣害がある
働く場所が少ない 道路が狭い 買い物が不便 夜暗い 空き家が多い

○こんな地域になって欲しい

- 第1位 若者が移住・定住してくれる
- 第2位 豊かな自然の活用
- 第3位 交通の便が良い



川根地域のまちづくりの「テーマ」

雄大な自然を背景に、多彩な交流と活力を生み出す地域

まちづくりの方針

●土地利用に関する内容

森林・河川などの自然環境や水資源及び農地を保全し、多彩な交流と活力を生み出し、多様なライフスタイルに対応できる住環境を形成する土地利用を目指します。

●施策と内容

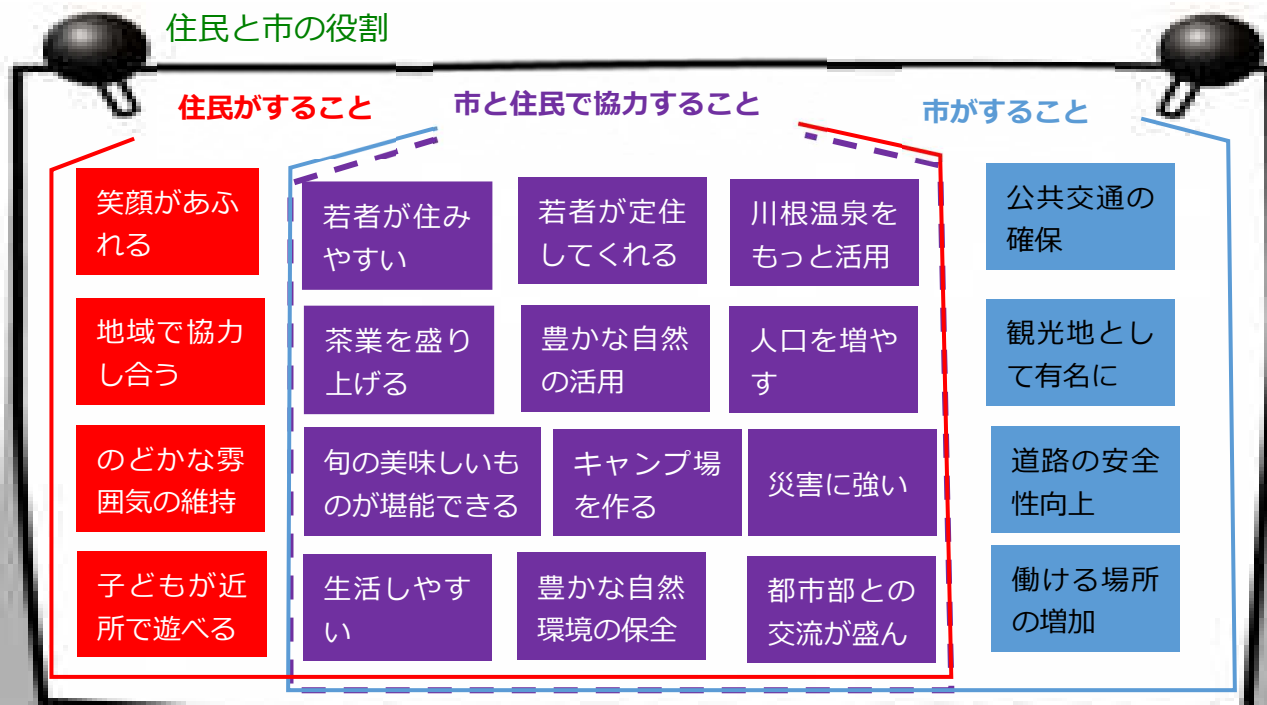
- ・桜、温泉、野守の池、パラグライダー等の地域資源を活用し、大井川鐵道を軸に大井川流域全体の回遊促進を図ることで、四季折々の自然を体感できるにぎわいのあるまちづくりを進めます。
- ・地域の魅力を都市圏に向けて発信するとともに、積極的に地域のイベントを開催することで地域への興味・関心を喚起し、関係人口の増加を図ります。
- ・空き家を活用した住居や就業先の確保、子育て・教育、医療、買い物、生活道路等の生活環境を充実することで、多様なライフスタイルに対応可能な住環境を実現し、移住・定住を促進します。
- ・農産物の品質の向上や有機栽培への転換による高付加価値によるブランド化の推進、大井川流域材の需要の拡大といった施策を進めることにより農林業の振興を図り、農地や森林がもつ多面的機能(カーボンニュートラルへの寄与、景観の維持、生態系を活用した防災・減災等)の維持・発揮を図るための支援や取り組みを推進します。

地域住民で考えたスローガン

お茶も人もめっくい川根

スローガンに込められた思い：川根に来てくれた人に川根の美味しいお茶や住民の温かい人柄を感じてもらい、温かい気持ちになってもらいたい。

住民と市の役割



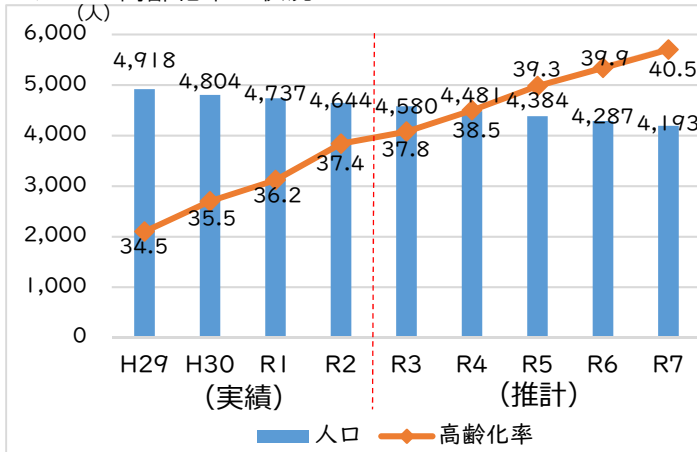
※地域別ワークショップであった意見を参考にしています

② 伊久身・大長地域

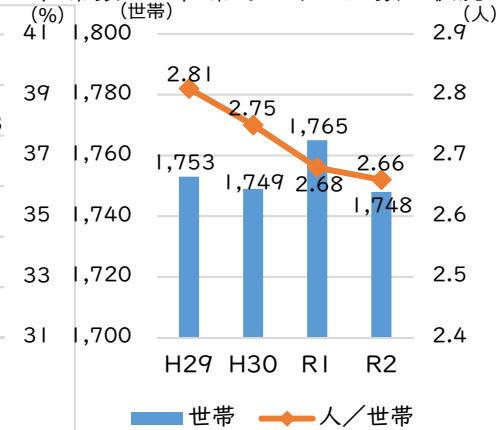
地域の概況

- ・伊久身・大長地域は市域北部に位置し、地域の大半は都市計画区域外で森林・農地が多くを占めています。
- ・人口の減少率及び高齢化率の上昇率は、川根地域に続き2番目に高いと推計されています。

■人口・高齢化率の状況



■世帯数・1世帯あたりの人数の状況



地域のニーズ

※島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン、市民課「島田市の人口・世帯」から算出

■アンケートによる施策ニーズ

公共交通機関の充実	魅力ある商店街づくりなどの商業振興
地震・水害など災害に強いまちづくり	農林業の振興
主要な道路の整備	財政の健全運営

令和3年度市民意識調査（令和3年6月実施）において、満足度が低く重要度が高い項目

■地域別ワークショップで多く出た意見

○地域の良いところ

自然が多い 神座のみかん 大井川 伊太の梅・梅まつり
山遊び・山道 伊太和里の湯 島田ゆめ・みらいパーク
のびのびした雰囲気 近所付き合いや地区のまとまりがある

○地域の悪いところ

過疎化の進行 生活の便が悪い 公共交通が不足している
農家が減少している 災害に弱い 虫や獣が多い 空き家が多い 地域が広すぎる

○こんな地域になって欲しい

- 第1位 若い人や子どもの増加
- 第2位 暮らしやすい生活環境の整備
- 第3位 豊かな自然の維持



伊久身・大長地域のまちづくりの「テーマ」

水と緑の自然に育まれたふれあい豊かな暮らしやすい地域

まちづくりの方針

●土地利用に関する内容

大井川、伊久美川、相賀谷川、伊太谷川といった清流や豊かな里山空間といった自然環境とともに、安全で快適な暮らしが確保できる土地利用を目指します。

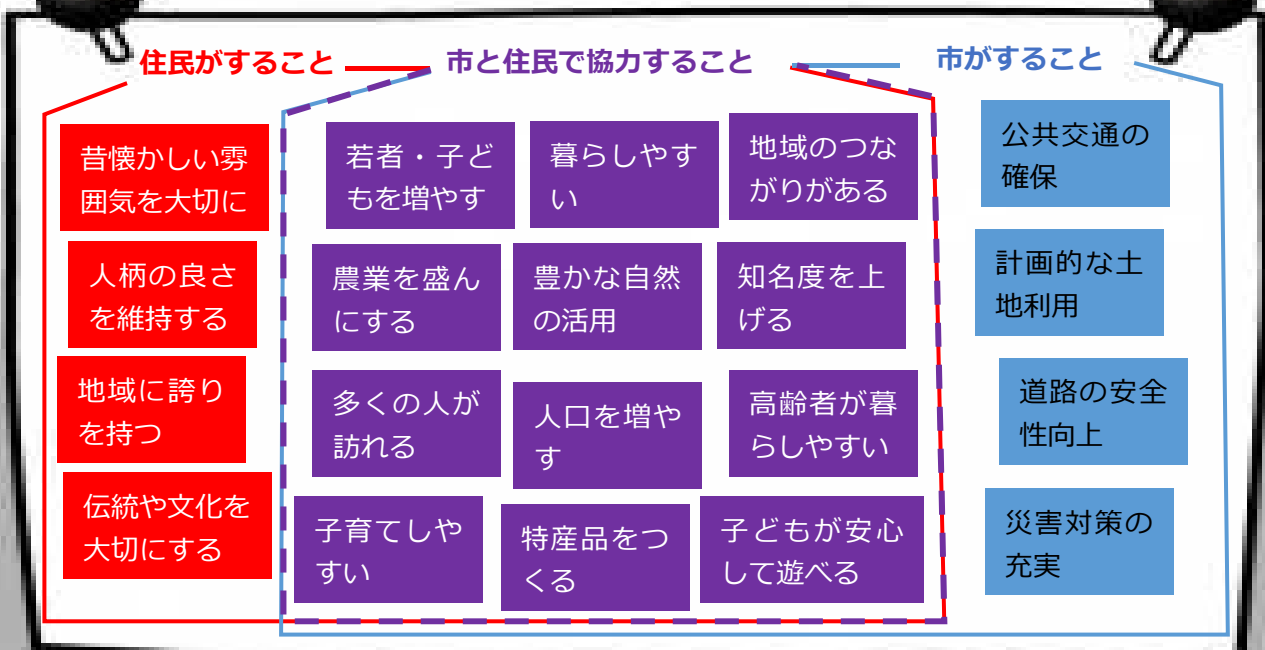
●施策と内容

- ・ 山の家、やまめ平といった豊かな自然環境を体験できる施設の情報を効果的に発信し、交流人口の増加を図ります。
- ・ 清流や里山といった豊かな自然環境を維持・保全するとともに、ハイキングやキャンプといった活用方法を検討します。
- ・ 集落間及び中心市街地へのアクセスを容易にする道路網や公共交通の確保に努めます。
- ・ 統廃合による学校跡地について、地域住民を交えて、地域の活性化や暮らしやすさの向上につながる活用方法を検討します。
- ・ 梅やみかん、お茶といった地域の特産物を栽培する農業の振興・継承に努めます。また、農地の集積・集約化により、効率的な農業の実現を目指します。

地域住民で考えたスローガン made in すんだ 大井川

スローガンに込められた思い：「made in」に地域への誇りを、「すんだ」には水が澄んだ、地域に住んだという意味を込め、地域に住んで欲しい、住み続けて欲しいという思いを込めている。

住民と市の役割



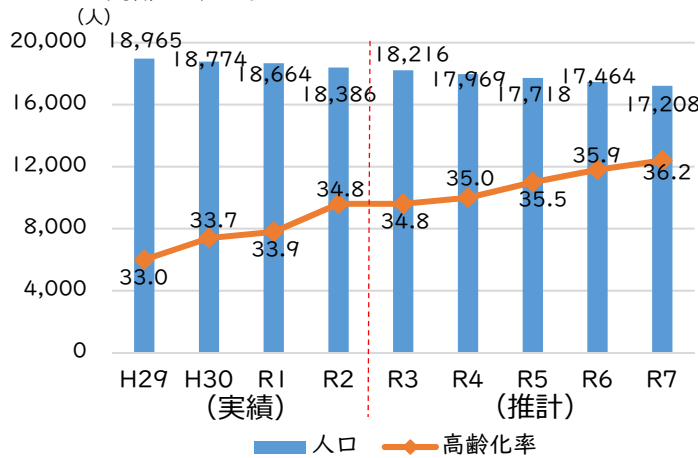
※地域別ワークショップであった意見を参考にしています

③ 金谷地域

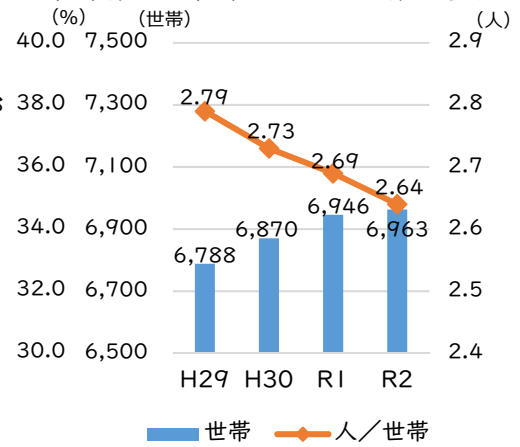
地域の概況

- ・市域西部に位置する金谷地域は、東海道本線が通るほか大井川鐵道の起点であり、さらに新東名高速道路や国道1号の東西軸、国道473号の南北軸が交差する、広域交通網の要衝にあたります。
- ・地域の北部は主に森林・農地となっており、南部の一体は牧之原台地の茶畑が広がっています。また、地域の中央部の大井川に接する一帯は、工業地が形成されています。
- ・人口の減少率及び高齢化率の上昇率は、3番目に高いと推計されています。

■人口・高齢化率の状況



■世帯数・1世帯あたりの人数の状況



地域のニーズ

※島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン、市民課「島田市の人口・世帯」から算出

■アンケートによる施策ニーズ

魅力ある商店街づくりなどの商業振興	公共交通機関の充実
農林業の振興	計画的な土地利用の推進
雇用の確保・創出	再生可能エネルギー活用などによる地球環境の保全

令和3年度市民意識調査（令和3年6月実施）において、満足度が低く重要度が高い項目

■地域別ワークショップで多く出た意見

○地域の良いところ

大井川鐵道(SL) お茶・茶畑 大井川 人情がある
 茶まつり 茶娘 交通結節点 夜景 景色が良い 山が多い
 歴史がある 富士山静岡空港 新東名のICがある 自然豊か 諏訪原城跡

○地域の悪いところ

お店が少ない 道路が混雑する 少子高齢化の進行
 茶業の衰退 病院が少ない 水害に弱い 世代間のつながりが希薄

○こんな地域になって欲しい

- 第1位 人と人とのつながりがある
- 第2位 移住による人口の増加
- 第3位 人が立ち寄ってくれる



金谷地域のまちづくりの「テーマ」

茶文化を守り伝え、多彩な交流と新たな活力を生み出す地域

まちづくりの方針

●土地利用に関する内容

自然・歴史・文化を守り伝えながら、安全で快適な居住環境を形成し、交通アクセスの優位性を生かした新たな活力を創造する土地利用を目指します。

●施策と内容

- ・大井川流域観光の玄関口である「KADODE OOIGAWA」と、これに併設した観光案内所「おおいなび」を中心に、豊かな歴史・文化などの地域資源、観光資源を活用しながら、多くの人を訪れるにぎわいのあるまちを目指します。
- ・交通結節点としての優位性を更に高めるため、国道1号及び国道473号の4車線化を始めとする広域幹線道路の整備を関係機関に働きかけるとともに、快適な地域内交通を確保するため、生活道路の整備を進めます。
- ・新東名島田金谷インターチェンジ周辺の優れた立地特性、豊かな大井川の水資源を活かした企業誘致により、活力のあるまちづくりを進めます。
- ・里山風景や大茶園のパノラマなどを活かした美しい景観づくりに努めます。
- ・金谷地区生活交流拠点を中心とし、健康づくりや子育て支援といった日常生活に関連する機能の集積を進めるとともに、拠点への移動手手段の確保を図ります。

地域住民で考えたスローガン お茶飲んで 福 はこぶまち

スローガンに込められた想い：地域の特産であるお茶、合格駅、門出駅、日限地蔵尊といった縁起の良いものが多くあるところをアピールし、多くの人に訪れてもらいたい。

住民と市の役割

住民がすること

人とのつながりを大切に

優しい人柄の維持

笑顔があふれる

地域に誇りを持つ

市と住民で協力すること

若者・子どもを増やす

高齢者が暮らしやすい

歴史をつないでいく

飲食店が多くある

多くの人を訪れる

スローライフが送れる

茶業を盛り上げる

多世代が楽しく暮らせる

豊かな自然の維持

子育てしやすい

災害に強い

頻繁なイベント開催

市がすること

移住者を増やす

公共交通の確保

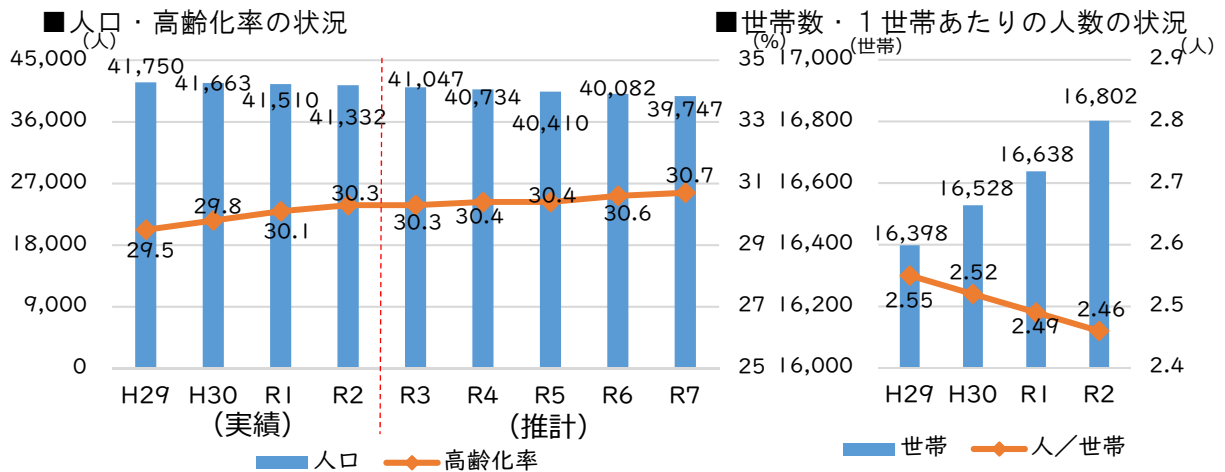
富士山静岡空港の活用

働く場所の増加

④ 旧市内・大津地域

地域の概況

- ・旧市内・大津地域は、市域の中心部に位置し、東海道本線島田駅や市役所、島田市立総合医療センターなどの公共施設、商業・業務施設が立地しており、都市機能が集積しています。
- ・地域の北側の範囲は主に森林・農地ではあるものの、大津小学校やばらの丘公園周辺には集落地が形成されています。また、地域の南側は大井川に沿って工業地が形成されています。
- ・市内で最も人口の多い地域で市民の内、約42.3%がこの地域で暮らしています。
- ・高齢化率の上昇率については最も小さいと推計されています。



地域のニーズ

※島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン、市民課「島田市の人口・世帯」から算出

アンケートによる施策ニーズ

魅力ある商店街づくりなどの商業支援	公共交通機関の充実
企業への支援や誘致などの工業振興	雇用の確保・創出
農林業の振興	省エネルギーの推進

令和3年度市民意識調査（令和3年6月実施）において、満足度が低く重要度が高い事業

地域別ワークショップで多く出た意見

○地域の良いところ

川越し街道 お祭り 地域の一体感 総合医療センター
 島田駅 自然が豊か ばらの丘公園 島田市の中心
 大井川 お店が多い 静か 蓬莱橋 リバティ お茶

○地域の悪いところ

シャッター商店街 大きい商業施設が少ない 人通りが少ない
 歴史・観光スポットの有効活用ができていない 少子化の進行

○こんな地域になって欲しい

- 第1位 商店街が活性化
- 第2位 車がなくても生活できる
- 第3位 若者や子どもの増加



旧市内・大津地域のまちづくりの「テーマ」

大井川の恵みと交通の利便性を活かした、人々が出会い歩きたくなる地域

まちづくりの方針

●土地利用に関する内容

市の中心部としてにぎわいと活力を育み、安全・安心で快適な暮らしを支える土地利用を目指します。

●施策と内容

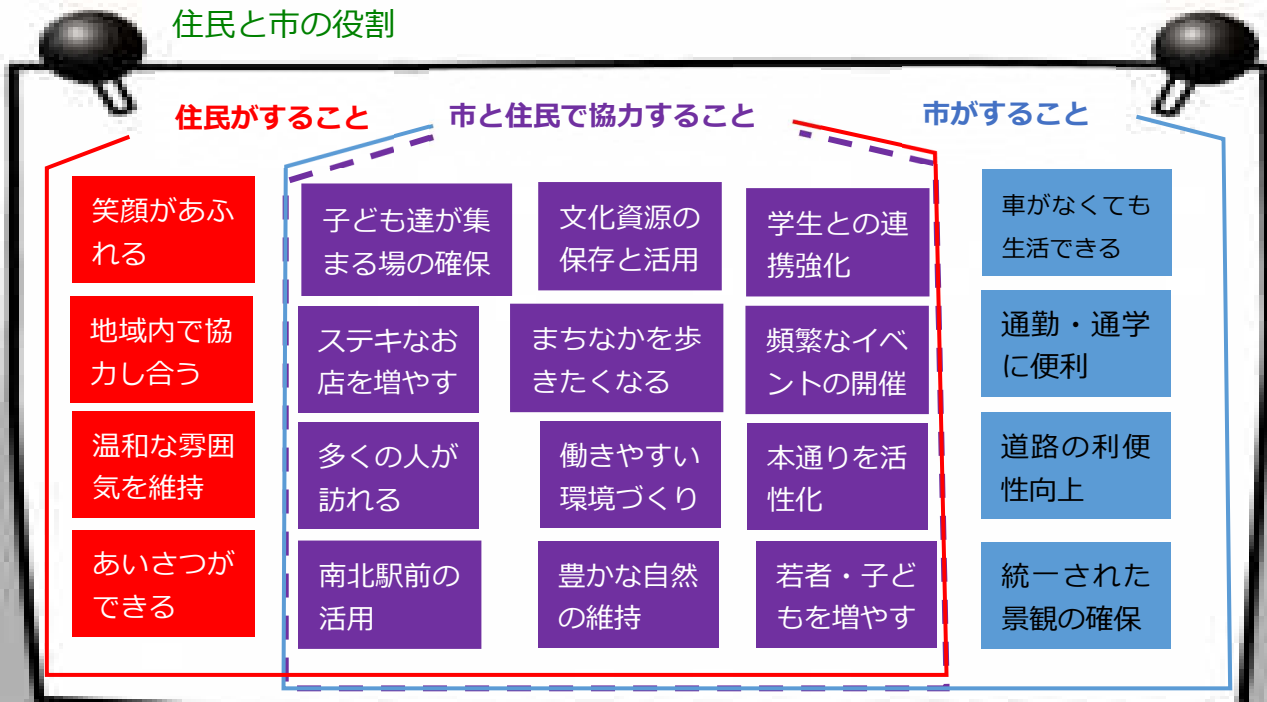
- ・ 中心市街地については、多くの人暮らし、過ごしたくなり、働くことができるまちづくりを進めます。また、道路や公園などの公共空間を利活用することによって魅力ある場所としてみがきあげ、居心地が良く歩きたくなる空間を創出します。
- ・ 医療機能をはじめ福祉や子育て支援機能を充実するほか、生活に身近な道路の改修による安全で快適な道路網の確保や移動ニーズに合わせた公共交通の確保により、多世代が生活しやすい快適な居住環境の形成を目指します。
- ・ 自然環境を保全するとともに、急傾斜地の災害対策や河川の治水対策を推進することで、豊かな自然の中で安心・安全に生活できる環境を整備します。
- ・ 歴史・文化などの地域資源、観光資源の保全・活用を図り、景観づくりにも配慮しながら地域の魅力を高めます。

地域住民で考えたスローガン

歴史が生きる 水が活きる 人が^{いき}熟るまち

スローガンに込められた思い：豊かな歴史資源や水資源を活用し、多くの人々が交流することでまちを盛り上げていきたい。

住民と市の役割

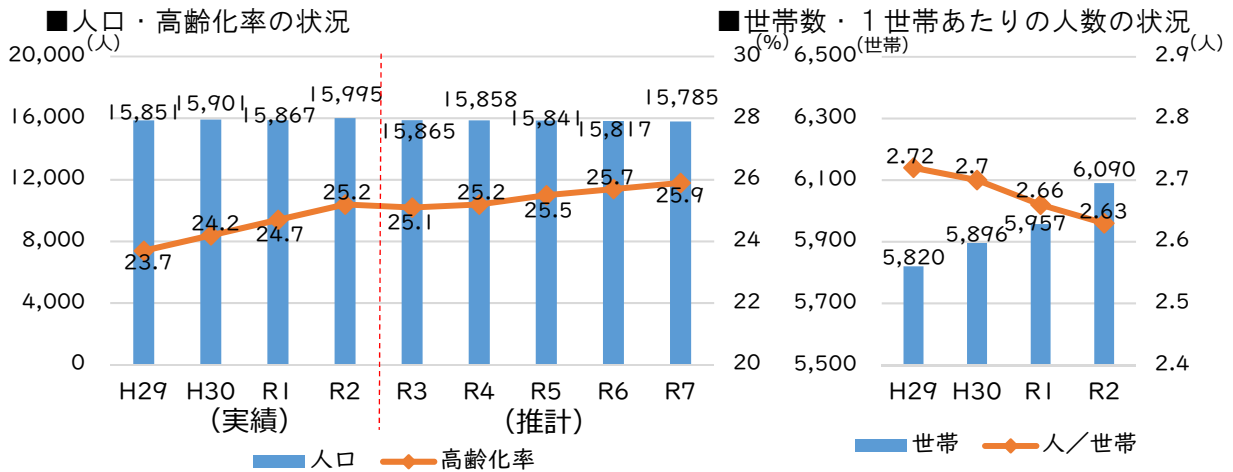


※地域別ワークショップであった意見を参考にしています

⑤ 六合地域

地域の概況

- ・市域東部に位置する六合地域は、東海道本線の六合駅が立地する東の玄関口にあたります。
- ・令和2年までの4年間で人口が増加しています。人口が増加している地域は、六合地域及び初倉地域のみです。
- ・最も人口の減少率が小さいと推計されています。また、現状の高齢化率が最も低く、上昇率も旧市内・大津地域に続いて2番目に低いと推計されています。



地域のニーズ

※島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン、市民課「島田市の人口・世帯」から算出

■アンケートによる施策ニーズ

魅力ある商店街づくりなどの商業支援	公共交通機関の充実
雇用の確保・創出	企業への支援や誘致などの工業支援
再生可能エネルギー活用などによる地球環境の保全	主要な道路の整備

令和3年度市民意識調査（令和3年6月実施）において、満足度が低く重要度が高い項目

■地域別ワークショップで多く出た意見

○地域の良いところ

六合駅 交通の便が良い 自然が多い 移住者が多い
若い人が多い コミュニティ活動が盛ん 桜
住みやすい ロクティ 幼稚園や学校が近い

○地域の悪いところ

道路が狭い、渋滞する 東光寺ICがフルインターでない
買い物できる場所が少ない 観光名所が少ない 個人商店が少ない

○こんな地域になって欲しい

- 第1位 生活しやすい
- 第2位 道路渋滞の解消
- 第3位 六合駅周辺が盛り上がる



六合地域のまちづくりの「テーマ」

緑がうるおう多様な世代が交流する暮らしやすい地域

まちづくりの方針

●土地利用に関する内容

幹線道路沿いの農地については、保全すべき農地の明確化と計画的な土地利用を検討し、緑豊かな自然環境を保全しながら、多世代が住みやすい快適な居住環境の形成を目指します。

●施策と内容

- ・六合駅や六合公民館といった地域拠点を中心に、医療・福祉・商業・子育て支援施設などの都市機能の誘導を図り、活発な地域コミュニティ活動等を活かした、多世代が交流する暮らしやすいまちづくりを進めます。
- ・地域内を東西、南北に走る幹線道路の利用実態に即した整備を進めるとともに、関係機関への働きかけをすることで、利便性と快適性の高い道路ネットワークを形成します。
- ・通学路となる生活道路、幹線道路の歩行空間などの整備により、安心して歩けるみちづくりを進めます。
- ・森林や河川、大津谷川や栃山川沿いの桜並木といった自然環境を大切に保全し、緑豊かなまちづくりを進めます。

地域住民で考えたスローガン

6色だけどレインボー六合

スローガンに込められた思い：大切にしていきたい6つの要素（1 あいさつ 2 伝統 3 自然 4 暮らし 5 共生 6 誰もが主人公になれる）に、「7あなた」を加えて7要素（色）とし、レインボーで表した

住民と市の役割

住民がすること

地域内で協力し合える

あいさつができる

文化を継承していく

楽しく生きていける

市と住民で協力すること

頻繁なイベントの開催

安全・安心に暮らせる

六合駅周辺を盛り上げる

自然環境の継承

高齢者が暮らしやすい

地域同士のつながりを大切に

みんなが生活しやすい

地域外からの来訪者を増やす

子どもが安心して遊べる

子どもが増える

のんびり暮らせる

清潔・きれいなまち

市がすること

道路渋滞の解消

災害対策の充実

安全な道路の整備

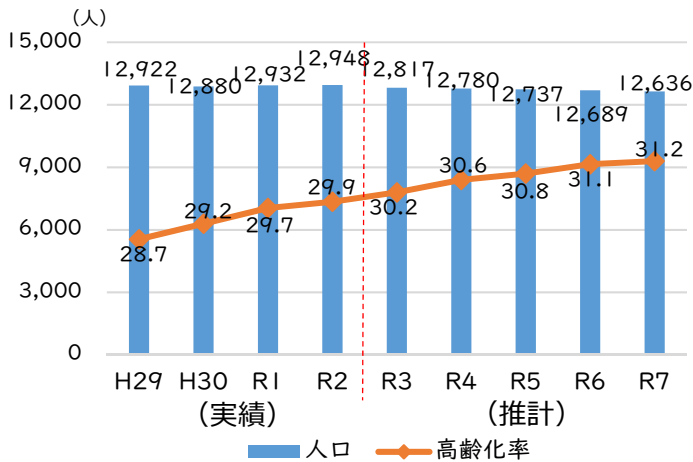
車がなくても生活できる

⑥ 初倉地域

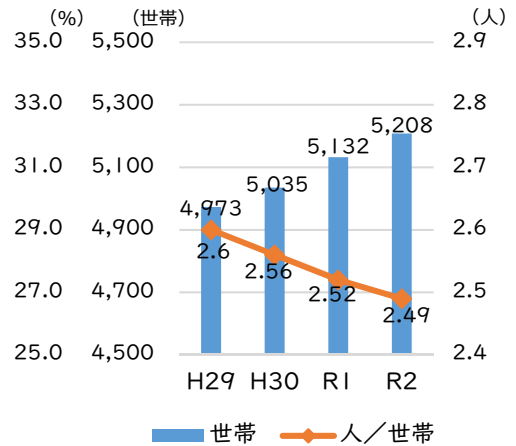
地域の概況

- ・市域の南部に位置する初倉地域は、東名高速道路吉田インターチェンジや富士山静岡空港に接する広域交通網の要衝にあたります。
- ・地域西部は牧之原台地の茶畑が広がり、北西部は大井川に接する緑地、北東部は、吉田インターチェンジに至る範囲に工業地が形成されています。
- ・令和2年度までの3年間で人口が増加しています。
- ・世帯数の上昇率は、全地域で最も高くなっています。

■人口・高齢化率の状況



■世帯数・1世帯あたりの人数の状況



地域のニーズ

※島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン、市民課「島田市の人口・世帯」から算出

■アンケートによる施策ニーズ

魅力ある商店街づくりなどの商業振興	公共交通機関の充実
富士山静岡空港を活用したまちづくり	農林業の整備
企業への支援や誘致などの工業振興	主要な道路の整備

令和3年度市民意識調査（令和3年6月実施）において、満足度が低く重要度が高い事業

■地域別ワークショップで多く出た意見

○地域の良いところ

富士山静岡空港 お茶・茶畑 交通の便がいい レタス
東名が近い 自然が多い 静かなまち 地域の活動が盛ん
新しい家が増えている 近所付き合いがある 景色が良い

○地域の悪いところ

公共交通機関の便が悪い 渋滞 道路が狭い、悪い
飲食店が少ない 子どもが遊ぶ所が少ない 空港が活用できていない

○こんな地域になって欲しい

- 第1位 公共交通機関の充実
- 第2位 企業が増える
- 第3位 ほどよい近所付き合い



初倉地域のまちづくりの「テーマ」

緑と歴史が調和した、活発な交流を生み出す地域

まちづくりの方針

●土地利用に関する内容

社会情勢の変化に合わせた保全すべき農地の明確化と都市的土地利用の調和を検討し、高い交通アクセス性を活用しながら、自然の豊かさと生活の快適性が両立される土地利用を目指します。

●施策と内容

- ・富士山静岡空港や東名高速道路など、広域交通拠点としての特性を活かした都市基盤の整備や企業・商業施設の立地を進めます。
- ・富士山静岡空港、東名高速道路及び市内中心部につながる幹線道路や、それらを補完する生活道路の整備を進め、交流と活力を生み出す都市基盤の充実を図るとともに、地域の安全性・快適性を確保します。
- ・牧之原台地に広がる茶畑を保全・整備するとともに、大茶園を活かした特色ある景観形成による観光資源として活用を図ります。
- ・初倉公民館を地域拠点の中心として、医療・福祉・商業・子育て支援といった都市機能の誘導を図り、便利で暮らしやすいまちづくりを進めます。

地域住民で考えたスローガン

寄ってくさ また来るさ 初倉茶々々！

スローガンに込められた思い：東名高速道路、富士山静岡空港を利用した方に、初倉地域に寄ってまた来たいと思ってもらい、地域を活性化させたい。

市と住民の役割

住民がすること

地域内で協力し合う

あいさつができる

地域活動の活発化

笑顔があふれる

市と住民で協力すること

まちの活性化

農業の活性化

豊かな自然の維持

安心して暮らせる

子育てがしやすい

高齢者が暮らしやすい

多世代が暮らしやすい

のどかな雰囲気維持

子どもを増やす

多くの人を訪れる

お茶・茶畑の活用

新たな特産品の開発

市がすること

道路の利便性向上

公共交通の確保

企業誘致による企業増

富士山静岡空港の活用

※地域別ワークショップであった意見を参考にしています